

I 中部地方の環境の現状

1 温室効果ガスの排出状況

中部地方環境事務所管内各県の温室効果ガス排出量を下記の表にまとめました。

人口規模が大きく製造業などの産業が盛んな愛知県が、最も排出量が多い状況となっています。

部門別には、業務及び家庭部門について、温室効果ガスインベントリーオフィス公表の全国平均（業務部門 42.3%増、家庭部門 34.2%増（2008 年度確定値））と比較して高低はあるものの、各県とも一律的に増加率が高い状況となっており、オフィスや家庭における温暖化対策に積極的に取り組む必要がこの表からも窺えます。

表 中部地方の各県における温室効果ガス排出量

単位：千 t-CO₂・%

	富山県	石川県	福井県	長野県	岐阜県	愛知県	三重県
	H20 年度 (2008)	H20 年度 (2008)	H21 年度 (2009)	H20 年度 (2008)	H20 年度 (2008)	H20 年度 (2008)	H20 年度 (2008)
産業部門	6,462	2,121	3,219	4,048	4,814	39,090	16,434
基準年比	102.9%	93.2%	77.9%	96.4%	78.8	91.1%	109.2%
部門比	49.0%	22.7%	40.5%	24.9%	31.5%	49.9%	58.8%
運輸部門	2,408	2,473	1,704	4,177	3,698	11,825	4,182
基準年比	128.9%	86.0%	114.6%	107.9%	89.8%	107.1%	100.7%
部門比	18.3%	26.5%	21.5%	25.7%	24.2%	15.1%	15.0%
業務部門	1,628	2,556	1,101	3,850	2,281	10,566	2,833
基準年比	174.2%	130.8%	151.2%	149.3%	133.4%	126.0%	168.0%
部門比	12.4%	27.4%	13.9%	23.6%	14.9%	13.5%	10.1%
家庭部門	1,987	2,012	1,197	2,933	2,770	9,375	2,209
基準年比	160.9%	117.4%	132.6%	126.6%	133.0%	128.2%	119.7%
部門比	15.1%	21.5%	15.1%	18.0%	18.1%	12.0%	7.9%
その他	692	179	722	1,272	1,723	7,533	2,272
基準年比	78.2%	101.2%	70.6%	54.2%	107.8%	102.2%	105.6%
部門比	5.3%	1.9%	9.1%	7.8%	11.3%	9.6%	8.1%
合計	13,178	9,341	7,943	16,280	15,286	78,389	27,930
基準年比	117.6%	103.9%	96.0%	106.3%	97.9%	101.8%	112.2%

※各県の環境白書及び地球温暖化対策地方公共団体実行計画等の公表資料を参照しています。

※県ごとに公表年度及び推計方法が異なります。また、合計は四捨五入により一致しない場合があります。

※基準年については、石川県については 2001 年、他の県については 1990 年を適用しています。

※岐阜県の排出量については、速報値となります。

※上記表中で温室効果ガスとしてカウントしているガスは以下のとおりです。

富山県：エネルギー起源二酸化炭素、非エネルギー起源二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等 3 ガス

石川県：エネルギー起源二酸化炭素、非エネルギー起源二酸化炭素

福井県：エネルギー起源二酸化炭素、非エネルギー起源二酸化炭素

長野県：エネルギー起源二酸化炭素、非エネルギー起源二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等 3 ガス

岐阜県：エネルギー起源二酸化炭素、非エネルギー起源二酸化炭素

愛知県：エネルギー起源二酸化炭素、非エネルギー起源二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等 3 ガス

三重県：エネルギー起源二酸化炭素、非エネルギー起源二酸化炭素